

できる！の喜び、みんなのものに。 TENGA の障がい者就労支援プロジェクト「able! project」 記者会見開催レポート

株式会社TENGA(東京都港区/代表取締役社長 松本光一)は、2022年3月16日(水)、able! FACTORY(埼玉県・川越市)にて、障がいのある方の就労と自立を支援するプロジェクト「able! project」記者会見を開催いたしました。

記者会見は、本プロジェクトの拠点となる、4月下旬よりオープン予定の就労継続支援B型事業所「able! FACTORY」で行われました。

TENGA 代表取締役社長の松本光一、able! FACTORY 施設長の木村利信が登壇し、本プロジェクトの概要やビジョン、事業所の運営方針についてプレゼンテーションさせていただきました。



また同日に able! FACTORY の見学会を実施し、利用者の方に行っていただく作業内容とともに、事業所のコンセプトや設備についてご紹介いたしました。

見学会の後は、able! FACTORY 内にあり、プレゼンテーション会場として使用した「able! CAFE」で、一般のお客様にご提供予定の名物「able!焼き」と自家製キッシュ、コーヒーを、来場者のみなさまにご賞味いただきました。

【株式会社 TENGA 代表取締役社長 松本光一によるプレゼンテーション】

はじめに、株式会社 TENGA 代表取締役社長の松本より、本プロジェクトをスタートすることになった経緯や概要、目指すビジョンについてのプレゼンテーションが行われました。

■プロジェクト発足の経緯

創業以来大切にしている「性を表通りに、誰もが楽しめるものに変えていく」というビジョンのもと、愛と自由にあふれた世界を実現するため、TENGA はこれまでさまざまなチャレンジを行ってきました。

たとえば TENGA ヘルスケアでは、性機能の悩みや妊活をサポートする製品を開発し、中高生向けの性教育サイト「セイシル」で性に関する大切な知識を分かりやすく提供しています。



そのほか「高齢者の性」に関する取り組みや、「障がいのある方の性」については、手の不自由な方でも TENGA を自らご使用いただけるよう「カフ（補助具）」を提供するなど、性の悩みに共に向き合ってきました。

障がい者支援を行う事業者の方や団体とともに活動する中で、「障がいのある方たちは、働く喜びと満足な収入を得ることがとても難しい」という「障がいのある方の働く環境」についても知るようになり、「障がいがある・なしにかかわらず、だれもが『働く喜び』を感じられる世の中にしていきたい。自分たちにできる方法で、より良い変化を起こしたいと考えました」と、本プロジェクトに至る経緯を語りました。

■就労継続支援 B 型事業所「able! FACTORY」について

「able! FACTORY」は、障がいのある方がモノづくりの技術を学びながら働き、工賃を得ることができる就労支援施設です。

モノづくりの会社である TENGA での経験から、「自分が頑張って覚えた技術でモノをつくる事の嬉しさ、できたときの喜びは、他では得られないものです。その喜びを感じてほしい。そして、想いを込めたモノづくりをして、そこから収入を得ることで、『できる!』の喜びを感じてほしいんです」と、able! FACTORY に込めた願いをお話しました。

さらに、松本自身が TENGA のプロダクトに対して、一般の方から「いいものをつくってくれてありがとう」という言葉をいただいて嬉しかったことから、「『人に喜ばれている』という実感の中で、働く喜びを感じてほしい」と話し、「モノづくりを通して『働く喜びを作り、広げる場所』を目指しています」と、able! FACTORY が目指すビジョンを語りました。

■ 「able! TENGA」について

次に、able! FACTORY の中で、実際に利用者の方に行っていただく作業についてご説明し、①シルクスクリーンプリント ②PCのリペア ③通販サイト「able! STORE」の運営についてご紹介しました。

*作業の詳細については、別途ご送付しました資料や、本プロジェクトの公式サイトをご覧ください。

また、同所で利用者の方にシュリンクフィルム包装作業を行っていただくことで完成する「able! TENGA」をご紹介しました。

パッケージのアートは、障がいのあるアーティスト・山野 将志（やまの まさし）さんの作品をご提供いただきました。

本プロジェクトでは、今後も障がいのある方のアート作品を活かした製品を制作することで、アーティストをサポートしてまいります。

また、able! TENGA は1つ購入されるごとに、障がい者支援として100円が寄付されます。このように障がいがある方の制作したプロダクトが、他の障がいがある方への支援に繋がっていく仕組みについてお話し、「**支援を受けた方の笑顔が、able! FACTORY で働く人の働く喜びになります。これがable! TENGA の新しい仕組みです**」と、プロダクトの意義を語りました。

寄付金はTENGAで集約して障がい者施設や学校などに寄付を行い、収支報告を実施してまいります。またFACTORYで制作したPCなどの物品も、同じく寄付させていただきます。



「able! TENGA」表面・裏面

■ 「able! CAFE」について

続いてご紹介したのは、一般のお客様にカフェとしてご利用いただける「able! CAFE」と、事業所の屋外に設定されたドッグパークです。

able! CAFE は「オープンでフレンドリー、みんなが笑顔でいられる場所」をテーマとした、犬と一緒に来店いただけるカフェです。食事を楽しむだけでなく、定期的にケーキ作りやシルクスクリーンプリントのワークショップを開催することで、**障がいのある方と一般のお客様が「できる」の喜びを共有する「コミュニケーションの場」**として活用していく予定です。



会場でふるまわれた「able!焼き」とキッシュ、コーヒー

「障がいのある方も、そうでない方も、大人も、子供も、犬も、分け隔てなく楽しくコミュニケーションして、「できること」の喜びを共有するのは、多様性を認め合うことに繋がります」と、本プロジェクトを体現する大切な場所であることをお話ししました。

■ パートナー、利用者の募集

続いて、衣類へのシルクスクリーンプリントや使えなくなったPCの回収のご依頼など、able! FACTORYに作業を発注し、本プロジェクトにご参加くださるパートナーの募集を呼びかけました。

そして何より、able! FACTORY の利用者の方を募集し、利用を検討される方には「安心して働けるように、しっかりサポートしていきます。働いてみたい方は、ぜひご連絡ください」と意気込みを語りました。

最後に、「障がいのある人も、そうでない人も、互いに協力することで、困っている人たちをサポートする。そして、笑顔にしていく。互いに協力することで、これまでできなかったことを『できる』に変えていく。こういう助け合いが当たり前のようになって、皆さんと楽しくできたらいいなと思います」と、本プロジェクトにける想いを語り、プレゼンテーションは終了しました。

【able! FACTORY 施設長 木村利信によるプレゼンテーション】

続いて、これまで 20 年近く福祉施設運営に携わってきた木村から、able! FACTORY の特徴や福祉的意義に関するプレゼンテーションを行いました。

当事者の親による共同作業所が就労支援を担っていた時代から、社会福祉法人や NPO 法人が就労支援を担い、現在では多くの株式会社が就労支援に参加するようになった時代の流れについて説明し、able! FACTORY も該当する B 型事業所での仕事は「一般的に 1 つの施設で 1 種類の作業を担い、主に内職的な軽作業が多く、そのために全国の平均工賃は 1 万 6 千円ほどとなっています」と現状をお話しました。

こうした現状を鑑み、able! FACTORY では複数の作業を用意し、「障がいのある方が、自分の意思で仕事を選ぶことで、仕事の継続性が高まり、技術の向上につながります。それによって平均よりも高い工賃とやりがいを得ることができます」と、本プロジェクトの意義を語りました。



【質疑応答】

会場、そしてウェビナーにご参加いただいたメディアの皆様から、各登壇者に向けてご質問をいただきましたので下記に掲載いたします。

Q. 川越から始めるプロジェクトなので、川越の方に向けたメッセージをお願いします。

A. この施設は「何をしているかよく分からない施設」というイメージではなく、「コミュニケーションの生まれる場所」にしたいと思っています。オープンでフレンドリーな場所にしたいので、是非川越の皆さんには「able! 焼き」を食べたり、ドッグランに来たり、遊びに来てくれたら嬉しいです。適度にゆるく、居心地のよい場所にしたいと思っていますので、新参者ではありますが、よろしく願いいたします。また、地産地消も今後進めていきたいと思っていますので、(川越の名産である) さつまいもを活かしたメニューも考えていきたいと思っています。

Q. 今後、別の地域に事業が発展していく可能性はあるか。

A. 自分たちが理想とする形、そしてみんなで作っていく未来、やさしくて住みやすい世界というのを、ここ (able! FACTORY) を始まりにして今後広げていきたいです。なので、この able! FACTORY の仕組みが上手くいったら、今後もどんどん広げていきたい。そのためにも、地域の皆さんに信頼してもらえ

ようにしたいと思います。

Q. Tシャツ、衣類のプリントは最低何個から発注可能なのか。

A. 最低ロットは特に設けておらず、1枚から発注を受けたいと思います。その人が作りたいモノに対して、しっかりとお応えしたいです。

Q. スタッフ（利用者）の方の障がいの幅が広いので、スタッフの方のサポート体制や工夫されている点を教えてください。

A. 特別な体制があるわけではありませんが、一人ひとりに合う支援を職員が工夫して行い、その方に合う仕事、サポート、指導をすることが重要だと思います。

Q. このプロジェクトを始める際に課題になった点や、越えたハードルなど具体的なエピソードがあれば教えてください。

A. 初めてのことにチャレンジする時は、課題は出てくるものなので、たくさんありました。利用者の方に「働く喜び」を感じてもらうためには、どうすればよいかを一つ一つ考えました。そのための場所、利用者さんの作業内容はもちろん、職員もゼロから学ばなければいけなかったですし、新しい形の就労支援を作るうえで、考えたことは本当にさまざまありました。

Q. 支援する団体はどのような基準で決めるのでしょうか。

A. まず情報を集め、寄付委員会を設けて話し合いながら決めていきます。

Q. 障がいのある視聴者の方に伝えたいことはありますか。

A. これまで当事者の方とお話していく中で、自分が知らないことをたくさん教えていただきました。僕もまだまだ知らないことがたくさんあると思うので、このプロジェクトを運営しながら教えていただくことがあると思います。それにできるだけ応えていく努力をしていますので、お互いが少しずつ相手を受け入れ、相手に知ってもらい、お互いに助け合える世の中を必ず実現していきたいです。

Q. 障がいのある方の性に関する支援について、今後取り組みたいことがあれば教えてください。

A. 障がいのある方は、性について相談する場所がほとんどありません。そのため、able! FACTORYでオンライン相談室をスタートし、全国の方から相談を受け付けます。性に関するメーカーなのである程度知見はありますが、障がいがある方ならではの部分でわからないことも多いです。ただ、まずは行動することが大事だと思い、今回スタートします。みなさんから学ぶことも多いと思いますので、僕が知らないことをたくさん教えていただけたらうれしいです。

Q. アダルトグッズを手掛けるTENGAが、障がい者福祉を始める意義をどう考えますか。

A. 働く喜びを得ることが難しい環境とか、収入が増えていく喜び、お客さんに喜んでもらうことを広げたいと思った。それが始まりです。自分たちでできるやり方で、提案したいと思いました。なので「アダルトグッズを手掛けるTENGA」が始める特別な意義はありません。

TENGAに関わる意義があるとしたら、「性の悩み」についてだと思います。障がいのある方の「性の問題」はこれまでタブー視されてきて、蓋をしまっている。性欲は人の根源的な欲求なのに、障がいの

ある人は性に対して「不自由でも仕方がない」と思われていることがあります。しかし、自分の意思で性的なことを満たせない状態というのは、“目の前に大好きなごはんがあるのに、何日も食べられない”のと同じことです。それを障がいがあるから満たされなくて仕方がないという形にはしたくないです。TENGAはこのプロジェクトをはじめ、障がいがある方への支援を広げていきたいと思えます。性に対して不自由でも仕方がないという考え方を変えていきたいという意味では、TENGA がやる意義があると思っています。

【本プロジェクトに関する今後の動き】

4月下旬 「able! FACTORY」オープン

オープニングイベントを実施予定です。詳細が決まりましたら、改めてご連絡させていただきます。

【会社概要】



株式会社 TENGA

住 所：東京都港区三田 1-7-1 パークコート麻布十番ザタワー2 階

事業内容：「セクシャルウェルネスアイテム」の開発・製造・販売

男性向けブランド「TENGA」、女性向けブランド「iroha」を展開。世界 72 ヶ国以上に販売網を広げ、製品の累計出荷個数は現在 1 億個を突破。2019 年 3 月には、阪急メンズ東京に初めての常設店「TENGA STORE TOKYO」をオープン。グループ会社に、性の悩みに応える株式会社 TENGA ヘルスケアもある。

【施設概要】



able! FACTORY

住 所：埼玉県川越市かし野台 2-14-1

概 要：TENGA が初めてオープンする、就労継続支援 B 型事業所

さまざまな作業や充実した設備を擁し、地域にひらかれた場所を目指す、「able! project」の拠点となる場所。

※ 就労継続支援 B 型事業所とは、障がいのある方に就労機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練などの福祉サービスを供与する施設です。

会場写真などの画像素材や、本プロジェクトに関する詳しい資料は、下記よりダウンロードいただけます。

<https://drive.google.com/drive/folders/10svhLW0902XgPx3IF5tm4aPtyUJwBuVg?usp=sharing>